



# 新羽中だより

令和3年1月20日(水)  
No.10 1月号  
横浜市立 新羽 中学校  
☎542-1680 FAX 541-1038

【HP】 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/nippa/> 【メール】 [l2-nippa@edu.city.yokohama.jp](mailto:l2-nippa@edu.city.yokohama.jp)

## 新しい年を迎えて

校長 荻野 弘

令和3年が始まりました。本年もどうぞよろしく願いいたします。私は元日はいつも日が昇っても布団の中にいることが多いのですが、今年はめずらしく早起きをして、初日の出を見ることにしました。自宅から5分ほどのところに東京湾と対岸の房総半島が一望できる高台があり、そこが絶景ポイントです。ちょうど日が昇るあたりに雲がありましたが、好天に恵まれ、清々しい気持ちで日の出を見ていました。この時のようにさわやかで過ごしやすい1年であることを願うばかりです。

1月11日(月)は成人の日でした。多くの自治体が成人式を取り止めていましたが、横浜市では、今までの横浜アリーナでの2部制から横浜アリーナとパシフィコ横浜の2ヶ所での4部制に変更して実施しました。今年の成人式のテーマは「開花」で、コロナ禍の中、それぞれの困難な道を歩んでいる状況だからこそ、笑顔の花があふれる成人式にしたいという想いが込められているということです。横浜の未来を背負っていく新成人のみなさんに期待したいと思います。

さて、生徒のみなさん、昨年から引き続き先の見えない厳しい状況が続いていますが、新しい年を迎えて、新たな気持ちでスタートしたことと思います。1日1日、体調管理に気を付け、周りのことを考えて行動するとともに、その日にできることを精一杯やってみましょう。

## 合唱コンクール・文化祭をテレビ視聴で行いました。

12月23日(水)に本校の合唱コンクールと文化祭が行われました。合唱コンクールは、例年、秋頃、公会堂などを借りて一堂に会して行っていましたが、コロナ禍により、この時期まで延期しました。当初計画では、学年ごと全クラス体育館に入って行い、他の学年は教室のテレビで視聴し、文化祭はすべて事前にビデオ収録したものを教室で見るとつもりでいましたが、この時期の急激な感染拡大のため、合唱するクラス以外はすべて教室でテレビを視聴することにしました。マスクをしながら、しかも聞き手が誰もいない、いわゆる「無観客」での合唱で、歌にくい状況だったと思いますが、どのクラスも素晴らしい合唱でした。特に3年生は、限られた条件と練習時間等のなか、レベルの高い合唱に仕上がっており、大変感動しました。3年生は、例年通り、順位を付けましたがどのクラスが最優秀になっても良いくらいのできてました。1,2年生は順位を付けず、合唱のイメージに合った賞の名前を審査員としておいいただいた港北区指揮者協会の先生方よりつけていただきました。

また、文化祭は予定通り、事前に収録したものを各教室で視聴しましたが、ステージで鑑賞しているのと同じぐらい楽しむことができました。みなさんの協力で行うことができたこと自体が素晴らしいし、生徒のみなさんが一生懸命に取り組んでくれたことがうれしいです。そして、1日とても楽しむことができたと思っています。最後になりますが、合唱委員・文化祭委員の皆さん、感染症対策をはじめ、様々な制約があり、計画や準備がたいへんだったと思いますが、本当に素晴らしい1日になりました。ありがとうございました。(校長 荻野)

ホームページ掲載のため氏名はイニシャルにしています。

### 合唱委員会 委員長 N. I (3-3)

初めに、合唱コンクールへの協力等本当にありがとうございました。全員の力がなければ成功しなかった事だと思います。みなさん、コンクールの終わりに話したと思いますが、自分を成長させることができたでしょうか。終わった今、年が変わった今を振り返ってみてください。クラスの雰囲気は変わりましたか。何かに取り組む時の気持ちやそのあとの気持ち。それぞれが自分が1つ前の学年だった時と何か変わりましたか？行事を通して変化を感じ取れていたらとても嬉しいです。どのような事にもそのような姿勢と気持ちを持ちながら取り組むことが大切だと思います。2020年で感じた思い、それを今後のことに結びつけてほしいです。困難な年に生き、乗り越えつつある私たちは他の困難でも乗り越えられます。後輩のみなさんには、定期試験や受験もそのような気持ちで乗り切ってほしいと思います。

最後に、先生方はもちろん皆さんの力のおかげで2020年を合唱コンクール含めてすべて悔いなく終えられてよかったです。見えない敵と戦っている皆さんは見えない人達によって支えられています。感謝の気持ちを忘れずに2021年を過ごしていきましょう。

### 文化祭委員会 委員長 B. K (3-2)

例年とは異なる状況下で開催した文化祭でしたが、私はとても面白い文化祭を創り上げることができたと思いました。委員会が始まった頃は、開催することができるのか、限られた範囲のなかでどのようなことができるのか、という不安がたくさんありました。しかし教職員の方々の協力もあり、無事で開催することができ、劇なども行うことができました。開催にあたり大変なこともありましたが、文化祭委員一同が一丸となり支え、全校生徒のみなさんの協力のおかげで、どのような困難も乗り越えていくことができました。ご協力ありがとうございました。

### 合唱コンクールを振り返って 担当職員 K. M

「合唱、どうしますか？」4月に赴任してきた校長先生との最初の会話は、こう始まりました。内心、『「どうしますか？」と聞かれたということは、「できないかもしれない・・・」ということなのだろうなあ・・・』とドキドキしながら会話を続けました。

実はその後、一度合唱コンクールはなくなりました。10月に体育祭が移動したので、1か月に2つの行事を開催することは無理だろうという判断です。「どうしたらいいのだろう・・・」と途方に暮れていたところ、数人の先生方が「合唱コンクールは開催したほうがいいのか」と声を上げてくださいました。とても心強かったです。そして、具体的に時期を考え始め、ようやく12月に時期をずらすことに決まりました。

さて、それからも開催方法や合唱委員生徒の活動内容、具体的な合唱練習の方法や時期など、例年通りではないので考えることが多く、先生方をはじめ、合唱委員や審査員の生徒の皆さんの意見も聞きながら、どこまで何ができるのか検討をたくさんしました。

12月になり、少しずつ授業での合唱も形になってきたところに、世の中の感染状況がどんどん悪化してきました。本当に開催できるのだろうか？と誰もが思っていたのではないのでしょうか？ですが、どんどん上達する皆さんの歌声を聴いていると、何とかして開催する方法を探そうと、会議に会議を重ねる日々の連続でした。

そして、ようやく迎えた12月23日。体育館に入ってきた途端、皆さんの表情が少し緊張し、「本番」を意識してくれたことが伝わってきました。全9クラスの合唱を、体育館で聴かせていただきましたが、どのクラスの皆さんも一生懸命練習の成果を発表し、歌い終わった時の表情はとてもすがすがしく、キラキラと輝いていました。次の日に集めた「しおり」も全員分読ませていただきました。TVではありましたが他のクラスの演奏を聴いて、お互いに頑張っただけ練習した成果をたたえ合う気持ちが、たくさん書かれていました。

来年どうなるかは、まだわかりませんが、今年度このような形ではありましたが開催できたことに感謝

させていただきます。これは生徒の皆さんだけではなく、保護者の皆様や地域の皆様、また先生方の協力のもとに成り立つ行事です。短い期間ではありましたが、合唱の授業で皆さんの歌声を聴くことができ、本当に幸せな日々でした。「歌声が響く新羽中学校はやっぱりいいなあ」と心から思いました。どうもありがとうございました。来年も開催できることを祈っています。

#### 文化祭を終えて 担当職員 M. K

今年度の文化祭は、様々な制約の中で行われました。その中でも感染対策を第一に考え、開催方法を検討する中で初のオンライン開催？ということに確定したのは文化祭の迫る、そして受験生である3年生にとって様々な事に追われる12月の時期でした。

文化祭委員と会議をしてOPムービーを撮影することになりましたが、撮影期間は非常に短いものでした。そんな中、文化祭委員は、当日はとても素晴らしいものを披露することができました。個別支援級や、自然科学部、音楽部などの団体発表なども趣向を凝らした発表で大変素晴らしかったです。準備期間も限られた時間で、いわゆる3密にならないための工夫など、活動に制限がかかるなかでも、ここまでの発表をつくりあげた皆さんはとても立派でした。

そして、我々職員一同も、今年は何かできることはないかと模索し、ささやかではありましたが、職員合唱や話題の楽曲など歌のプレゼントをこっそり準備し、当日サプライズで発表させていただきました。

生徒も職員も力を合わせて行事をつくりあげていき、文化祭が終わった後には笑顔がたくさん見られ、とても楽しかったという感想が多くよせられたことが何よりうれしいことでした。

私自身、今年の実験で、自分のおかれている環境や状況に絶望し、あきらめるのではなく、できること、やれることを考え工夫することでこんなにも楽しく素晴らしいものがつくりだせるのだということを生徒みなさんに教えてもらいました。コロナ禍という大きな困難にもくじけることなく、互いに支え合いながら、こんなにも素晴らしい行事をつくりあげた新羽中の底力を感じるとともに、あらためて学校という場所は素晴らしい場所であることを強く感じる、そんな学校行事となったのではないのでしょうか。

最後に、このような状況ではありましたが、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力のおかげで無事文化祭を開催できましたことを、この場をおかりして御礼申し上げます。



#### ★★合唱コンクールの結果★★

- |     |                 |    |             |       |
|-----|-----------------|----|-------------|-------|
| 3年生 | 最優秀賞            | 3組 | 優秀賞         | 1組、2組 |
| 2年生 | ダイナミックサウンド賞     | 1組 | オーバーザレインボー賞 | 2組    |
|     | ベストメロディー賞       | 3組 |             |       |
| 1年生 | ナイスメッセージ賞       | 1組 | フレッシュマン賞    | 2組    |
|     | ファンタスティックハーモニー賞 | 3組 |             |       |

#### 第6回横浜の子どもが作る弁当コンクール 入賞

「体の免疫力を高める弁当を作ろう！」をテーマに行われた第6回横浜の子どもが作る弁当コンクールに本校2年生のY. Mさんが応募したお弁当が入賞され、3月4日の「ハマ

弁」の献立の一部になることになりました。お弁当のネーミングは『免疫力120%UP弁当です』まごわやさしい(=豆…まのように7つの食材をまんべんなく食べれば健康的である)を意識しつつ免疫力アップとバランスの良いカラフルなお弁当をめざしたとのこと。メニューは、ゴマ塩枝豆ご飯、豚ロースとしめじのコク味噌炒め、ウインナーと人参のきんぴら、ブロッコリーとじゃが芋の卵炒め、パプリカのマリネです。美味しそうですね。



### 栄光をたたえる 努力の成果

ホームページ掲載のため氏名はイニシャルにしています

- ◇横浜市立中学校 体育活動優秀生徒
  - 男子 S. K(3-1) 女子 S. M(3-1)
- ◇横浜市中学校作文コンクール 「詩」部門
  - 佳作 「じいちゃんのお宝」 Y. M(2-1)
- ◇港北区中学校美術科巡回作品展 出品者 「立体感のある平面構成」
  - I. F(3-1)、S. M(3-1)、N. R(3-3)、N. K(3-3)
- ◇神奈川県中学校美術展 優良賞 M. H(3-3)
- ◇第12回中村キース・ヘリング美術館国際児童絵画コンクール
  - アーキテクト賞 中村キース・ヘリング美術館賞 I. R(2-2)
- ◇新羽町連合町内会防犯部 防犯作文「若い芽」 入選作品
  - 最優秀 「誰もが思う理想的な世の中」 A. W(1-2)
  - 優秀 「とにかく挨拶から」 A. R(2-1)
  - 佳作 「一人一人の心がけ」 M. H(3-3)
  - 「ちょっとした心がけ」 A. M(3-2)
  - 「みんなで築く防犯」 K. A(1-3)
  - 「挨拶は明るい町の象徴」 F. A(1-1)
- ◇校内人権作文コンクール
  - 最優秀賞 「支えられる社会へ」 K. N(3-1)
  - 「障がいとは」 M. H(3-3)
  - 優秀賞 「「普通」の壁を乗り越えて」 O. R(3-2)
  - 優良賞 「百分の一の言葉の重さ」 S. M(3-1)
  - 「性はグラデーション」 S. M(3-3)
  - 「最大のチャンス」 N. R(3-3)
  - 「声を出す勇気」 A. R(2-1)
  - 「みんなの優しさで優しい社会へ」 T. K(2-2)
  - 「いじめは絶対いけない」 O. M(1-1)
  - 「平和な未来にするために」 K. K(1-2)
- ◇校医さんが選んだよい歯の生徒
  - Y. M(3-1)、K. Y(3-2)、A. M(3-2)